

回 答 書

令和 8 年度国際交流事業業務委託に係るプロポーザルに関して、質問があった件について、次のとおり回答します。

質問事項	質問内容	回答
オンライン国際交流の実施回数・実施単位 (仕様書 4・5 (2)・6 (3) ②)	オンライン国際交流について、以下をご教示ください。 ① 貴市が想定される実施回数と、その計上単位（学校単位／学年単位／学級単位のいずれか）。 ② 対象生徒（中学 1・2 年生）全員が、それぞれ 1 回以上交流に参加することを必須とお考えでしょうか。 ③ 貴市の公表資料（令和 8 年 5 月 1 日現在）では、中学 1・2 年生は 8 校計 44 学級（通常学級）と承知しております。1 回あたりの日本側の参加規模（学級数）について、貴市のお考えをご教示ください。 ④ 仕様書 6 (3) ②の「指定された回数」が指す回数についてご教示ください。	①②③契約締結後、受託者において各学校と調整し契約期間内に実施していただくことになります。 ④上記のとおり、各学校と調整した結果、必要な回数となります。
オンライン国際交流の相手先について	① 相手校の学校種・学年について、仕様書上特段の限定はないという理解でよろしいでしょうか。また、1 回あたりの相手方の参加人数について、貴市のお考えがあればご教示ください。 ② 交流相手国・地域について、貴市のご希望（姉妹都市・既存の交流実績のある国や地域等）や、活用を想定されているルートがあればご教示ください。	①②相手方の学校種・学年及び希望する地域について、仕様書上特段の限定はございませんが、同世代との交流を想定しております。また、相手方の参加人数は、本市側の参加人数と同数程度を想定しております。
交流当日及び研修時の現地対応について (仕様書 4 (2)・(3))	① オンライン国際交流の実施当日における、受託者の現地対応（各実施校への訪問による機材設営・接続確認・当日の運営補助等）の要否についてご教示ください。オンラインによる遠隔支援のみでも可とお考えでしょうか。 ② 通信障害や機器トラブルが授業中に発生した場合、受託者が当日中に現地で	①②オンライン国際交流の実施当日においては、受託者が現地対応を行うことを想定しております。 ③配置人数・配置場所に指定はございません。

	対応することは求められますか。 ③ コーディネーター及びプログラムサポーターについて、配置人数・配置場所（現地配置か遠隔か）に関する貴市のお考えがあればご教示ください。	
A I 英語学習アプリの機能要件について（仕様書 4（1）・5（1））	仕様書に定める「話すこと・書くこと・聞くこと・読むこと」への対応について、以下をご教示ください。 ① 4技能のそれぞれについて、A I による自動採点及びフィードバック機能を有することが必要でしょうか。 ② 「書くこと」について、生徒が作成した英文に対するA I による添削・修正提案の機能は必須でしょうか。 ③ 各校が採択している英語教科書に準拠した教材・課題が提供されることは、要件に含まれますでしょうか。 ④ 教諭が独自に課題を作成・編集し、学級単位・生徒単位で配信できる機能について、想定される運用があればご教示ください。	①②フィードバック機能については、必須とはしていませんが、自動採点機能については、仕様書に「生徒が自分の採点記録や学習状況を確認及び保存できること。」と記載しておりますので、必要としております。 ③仕様書（2）①の記載のとおり、教科書の単元計画に沿った具体的な使用例と記載しているため、要件に含まれております。 ④例として、英作文のテストを教諭がテーマを設定して、学級や生徒に配信することを想定しております。
過年度の取組と本業務の前提について	提案内容を貴市の実情に即したものとするため、以下をご教示ください。 ① 市立中学校において、英語教育に係るI C T活用又は国際交流の取組を過年度に実施されている場合、その実施内容と、そこで明らかになった課題・改善点についてご教示ください。現在実証中の取組がある場合も、現時点での課題認識をご教示いただけますでしょうか。 ② 過年度の取組を踏まえ、本業務において特に改善・強化を期待される点があればご教示ください。 ③ 現在、市立中学校で導入済みの学習アプリ・デジタル教材（英語科で使用しているものを含む）があればご教示ください。また、本業務で導入するアプリとの併用・使い分けについて貴市のお考えがあればご教示ください。 ④ 本業務で導入するA I 英語学習アプリ及びオンライン交流の実施手段は、特定の製品・サービスを前提とせず、仕様書の要件を満たすものであれば提案可能という理解でよろしいでしょうか。ま	①デジタルドリル等での学習を行っていますが、教諭間での活用に差があることが課題となっております。 ②仕様書に記載の業務目的のとおりです。 ③まなビューアやe - ライブラリ等のデジタル学習教材を使用しており、個々のニーズに応じて活用でき、使い分けられることを考えております。 ④本業務で導入するA I 英語学習アプリ及びオンライン交流の実施手段については、お見込みのとおりです。 また、過年度に導入されたシステムの継続利用やデータの引継ぎは前提としておりません。

	た、過年度に導入されたシステムの継続利用やデータの引継ぎが前提となることはありますでしょうか。	
業務の一部再委託について (仕様書 8)	① 業務の一部を再委託する場合の事前承認の申請時期及び様式についてご教示ください。 ② 企画提案書の段階で、再委託を行う業務の範囲及び再委託先の名称を明記する必要がありますでしょうか。	①再委託の場合、契約締結後に申請してください。また、様式の指定はございませんが、書面により提出してください。 ②様式 5 に記載をお願いします。
業務実績書 (様式 4) に記載する実績の範囲について	① 「同種又は類似業務」とは、自治体等との業務委託契約に基づく受託実績を指すという理解でよろしいでしょうか。システム・教材の導入や販売に係る実績も含まれますでしょうか。 ② 共同提案又は協力体制により実施した業務の実績について、記載方法（分担範囲の明記の可否、別紙添付の可否等）をご教示ください。	①お見込みのとおりです。 ②分担範囲の明記をお願いします。また、別紙添付があればご提出ください。
効果測定の指標・目標値について (仕様書 4 (4) ②・(5))	① 効果測定にあたり、貴市が想定される成果指標（アプリの利用率・学習時間、英語力の伸長、生徒の意識変容、英語検定等の受験・合格状況など）や、達成目標値の設定があればご教示ください。 ② 効果測定の基準値として参照できる既存データ（全国学力・学習状況調査の英語の結果、生徒の英語学習に関する意識調査結果等）について、受託者への提供は可能でしょうか。 ③ 効果測定レポートの提出時期・様式・報告先について、指定があればご教示ください。	①沖縄県学力到達度調査における県平均正答率との差±0 ポイント アンケート調査において、「交流をとおして英語の学習意欲が高まった」と回答した割合 90% ②公表されているもののみ提供可能です。 ③業務履行期間内に担当課まで提出。 様式の指定はございません。
学校の ICT 環境について	生徒用 1 人 1 台端末の OS・機種、ヘッドセット（マイク付きイヤホン）の整備状況、各校の通信環境（多数同時接続時の帯域）、及びオンライン交流に使用可能な教室（体育館・特別教室等）の状況についてご教示ください。	生徒用端末は Chromebook になります。ヘッドセットは、整備しておりません。通信環境としては、校内の授業を行う場所であれば問題ありません。ただし、受託者において各学校と調整が必要です。
A I 英語学習アプリの利用開始時期・教員アカウント（仕様書 5 (1))	① アプリの利用開始時期は、契約締結後の環境設定・アカウント発行完了後（9 月上旬目途）と想定してよろしいでしょうか。 ② 教員用アカウントの必要数（英語科教員・学級担任等）の想定があればご教示ください。	①契約締結後、速やかに実施開始できることを想定しております。 ②教員用アカウントの必要数は英語科教員約 30 名分を想定しております。

	示ください。 ③ 対象生徒数（中学１～３年生 約 2,110人）について、年度途中の転入生等が生じた場合のアカウント追加の取扱いをご教示ください。	③転入が生じた場合、アカウントを追加で発行する。
教員向け操作研修の実施時期・形態 （仕様書４（２））	教員向けの操作研修について、① 実施時期（夏季休業期間中の実施可否を含む）、② 回数及び１回あたりの時間、③ 実施形態（各校訪問／オンライン／教育委員会での合同開催）について、貴市のご希望があればご教示ください。	各学校の要望に応じて決定する。
参考見積書の消費税の表示方法 （仕様書９（４））	参考見積書における消費税の表示方法（税抜額と消費税額の併記、または税込総額のみ表示）について、指定があればご教示ください。	総額に対する内税額を記載してください。
プレゼンテーションでのPowerPoint使用の申出方法 （実施要項４（７）⑤）	PowerPoint使用の申出は、企画提案書類の提出時に任意様式の書面により行う理解でよろしいでしょうか。	メールまたは口頭での事前の申し出で構いません。